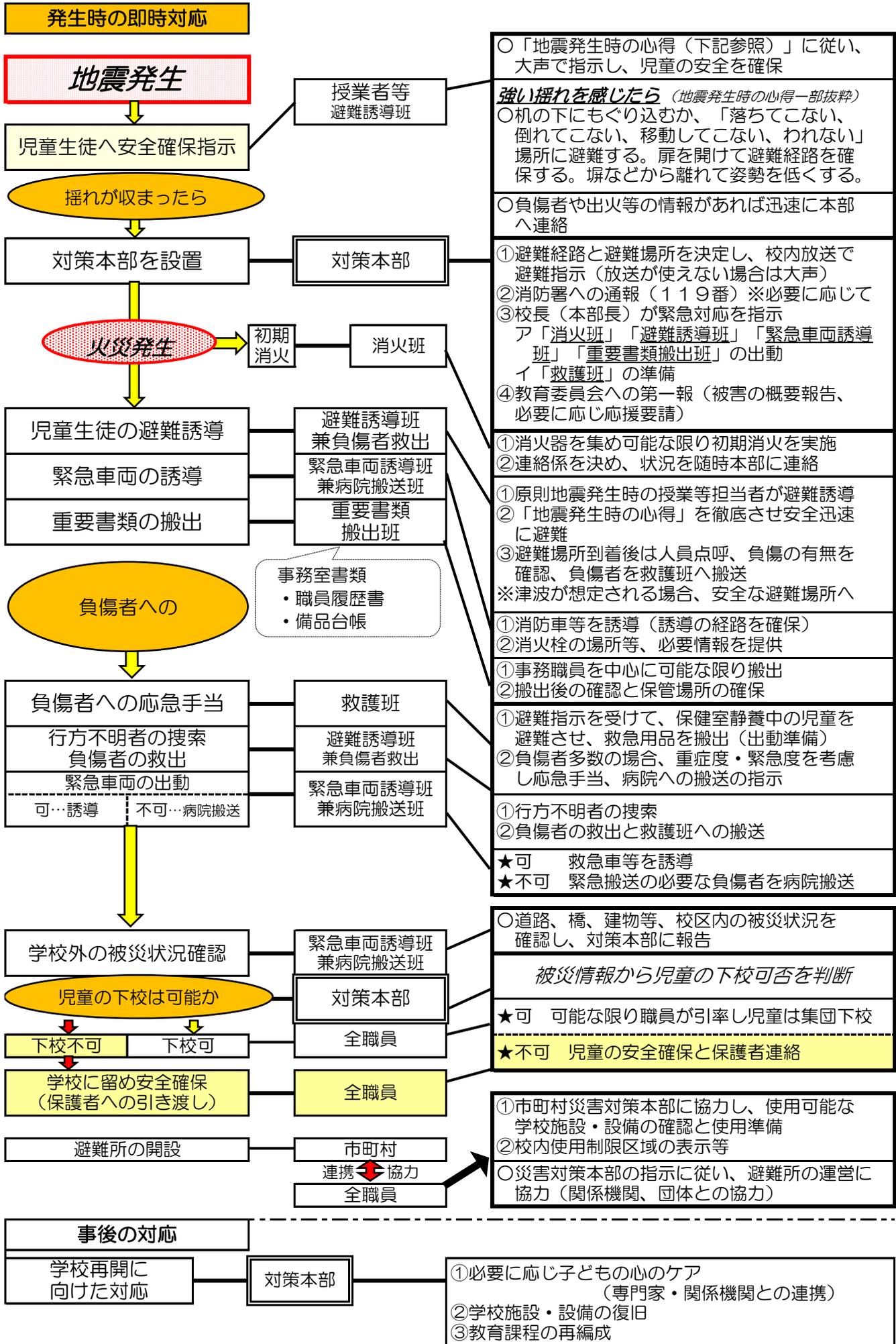


地震時の学校対応マニュアル（岩野小学校）



「地震発生時の心得」

※非常事態に備え、日頃から児童へ指導を徹底しておくこと

強い揺れを感じたら

- 屋内にいる場合は、慌てて屋外に飛び出さず、落下物や倒壊による被害を避けるため、棚、ロッカー、窓ガラス等から離れ、机の下等に潜り込むか、「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない、割れない」場所に避難する。動ける余裕がある場合は、避難経路を確保するため戸を開けておく。なお、屋外にいる場合は、校舎や塀、倒壊する可能性の高い工作物などから離れて姿勢を低くする。

強い揺れがおさまったら

- 火気使用の場合は直ちに消火し、ガスの元栓を閉め、電気器具のコンセントを抜く。
- 避難指示の校内放送（または教職員の大声）を正確に聞き、避難経路、避難場所を確認する。
- 特に屋内では、「押さない、走らない、しゃべらない、戻らない、近づかない」避難態度に徹し、上靴のまま避難する。
- パニックに陥らずに安全・迅速に避難する。
- 集団から離れて逆戻りしない

【津波被害が想定される地域では】
あらかじめ設定してある安全な二次避難場所に早急に避難し、警報・注意報が解除されるまでは避難場所にとどまる。

火災が発生したら

- 火災を発見したら、非常ベルを押し、迅速に教職員に連絡する。
- 煙が充満している場合は、ハンカチ等を口に当て、姿勢を低くして避難する。
- 防煙対策のため、ハンカチを常時携帯する。

避難場所に到着したら

- 避難場所に集合する際は、整列して着座し、人員確認を正確・迅速に行う。